

(単位：千円)

消 防 局 予 算 要 求 の 内 容			査 定 結 果	
事 業 名	事 業 概 要	要求額	査定額	内容
消防防災通信ネットワークの構築（消防救急無線デジタル化及び消防指令センター更新整備実施設計）	平成28年5月31日が使用期限と定められている150MHz帯消防救急無線について、計画的にデジタル化整備を実施するため必要な実施設計を行うもの。 一方、平成10年度に運用を開始した消防指令センターは、運用から12年が経過し、システムの更新時期を迎えている。逼迫する本市財政状況の下、上記デジタル化整備と併せて整備を行うことにより、より効率的な整備が可能となることから、必要な実施設計を行うもの。	60,000	60,000	<input checked="" type="checkbox"/> 要求どおり <input type="checkbox"/> 積算内容精査 <input type="checkbox"/> 事業内容精査
訓練用パッケージ型消火設備の製作 （職員提案予算）	現在、事業所に普及している『パッケージ型消火設備』は、消火薬剤及び放出に使用するガスボンベ等の交換が高価であることなどの理由から、実際の放射を伴う訓練が実施しにくい現状がある。 そこで、『パッケージ型消火設備』と同様の操作方法を体験でき、安価で繰り返し使用できる訓練用パッケージ型消火設備を製作することにより、当該設備が設置されている事業所の訓練指導に活用し、火災発生時の有効な初期消火活動の確保を図る。	1,500	1,500	<input checked="" type="checkbox"/> 要求どおり <input type="checkbox"/> 積算内容精査 <input type="checkbox"/> 事業内容精査
ポータブル電気火災実験器の製作 （職員提案予算）	火災原因の上位に挙げられる『電気火災』については、より効果的な市民への防火広報を行うため、職員が地域の住民に対して、直接実演指導をしているところである。しかしながら、定まった指導ツールがなく、廃材の利用などにより代替している現状であることから、電気火災の主な要因である「短絡」「トラッキング」「グラフィート化」「過電流」などの展示実験が、より安全、かつ、効率的に、そして、市民にわかりやすく実施できるようなツールを製作する。	1,000	1,000	<input checked="" type="checkbox"/> 要求どおり <input type="checkbox"/> 積算内容精査 <input type="checkbox"/> 事業内容精査